

令和2年第10回定例会

# 江東区教育委員会会議録

令和2年10月23日（金）

江東区教育委員会

## 令和2年第10回江東区教育委員会定例会会議録

- 1 開会年月日 令和2年10月23日（金）午前10時00分
- 2 閉会年月日 令和2年10月23日（金）午前10時31分
- 3 開会場所 教科書センター（江東区教育センター内）
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、橋本俊雄（教育長職務代理者）、  
進藤孝、眞貝裕利子、鈴木清人
- 5 出席職員 武越教育委員会事務局次長、  
池田庶務課長、半田学校施設課長、太田整備担当課長、  
大町学務課長、伊藤指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、  
堀越教育支援課長（教育センター所長兼務）、河野地域教育課長、  
栗原江東図書館長、佐久間主任指導主事、

### 6 議題

日程第1 教育長職務代理者の指名について

### 7 報告事項

- (1) 令和2年第3回区議会定例会（教育委員会関係）について
- (2) 令和3年度当初予算要求について
- (3) 令和2年度校園長・幼稚園副園長・教育管理職選考受験の状況について
- (4) 江東区立小学校外国人講師派遣事業委託公募型プロポーザルの実施について

### 8 審議概要

本多教育長 それでは、ただいまより、令和2年第10回江東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員を御指名いたします。眞貝委員、鈴木委員にお願いいたします。

それでは、審議に入ります。

議事進行上の関係から、審議順を変更いたしまして、日程第1については、報告事項の終了後に審議することとしたいと存じます。

それでは、報告事項1、令和2年第3回区議会定例会（教育委員会関係）について、事務局より説明を願います。

武越事務局次長 それでは、令和2年第3回区議会定例会の教育委員会関係について、少々お時間をいただきまして、御報告を申し上げます。資料1を御覧ください。

第3回定例会は、9月25日の本会議で5名の代表質問が、28日の継続本会議で8名の通告による質問が行われまして、全体で43本の質問がございました。そのうち教育関連では、資料に記載のとおり5本の質問がありました。質問と答弁の概要は、資料に記載のとおりですが、ここではポイントのみを述べさせていただきます。

まず1人目は自民党の米沢和裕議員の代表質問で、GIGAスクール構想に関する質問でしたが、(2)の整備に向けた検討状況については、事務局と小中学校で組織する教育情報化推進委員会にて、端末のOSや機種、学習支援サービス等、具体的な検討を行っており、今後、パイロット校を指定するなど、検討を重ねていく旨を回答しております。

2ページをお開きください。2人目は共産党の赤羽目民雄議員の代表質問で、主に(1)少人数学級を進めるべきとの質問でしたけれども、特別区教育長会でも要望を出しているところでありまして、今後も国都の動向を注視していく旨の答弁をいたしました。

3人目は民政クラブの酒井なつみ議員の通告質問で、性教育の充実に関する質問でしたが、(1)では、中学校学習指導要領に基づき、指導を行っているが、こどもたちの心身の成長には個人差があるため、個々の指導の充実が課題である。また、3ページをお開きいただきまして、(3)家庭における性教育につきましては、保護者は家庭教育学級やPTA主体の地区教育学級や講演会等の参加を促しており、今後とも要望を踏まえて取り組んでいく旨の答弁をいたしました。

4人目は自民党の重松佳幸議員の通告質問で、GIGAスクール構想に関する質問でしたが、(1)ICT教育の推進では、新しい授業スタイルを確立し、学びの転換を図っていくということ。(2)の現在の補正予算によるタブレットの貸出し等に対する成果と課題につきましては、家庭、こどもたちからの評価は高い一方で、保護者の端末を活用している家庭では、使用時間が限られてしまうなどの課題がある旨の答弁をいたしました。

4ページをお開きいただければと思います。5人目は自民党の金子ひさし議員の通告質問ですが、主にプログラミング教育についての質問で、昨年度は2校をプログラミング教育研究校に指定し、他校でもすぐに実践できるよう授業の公開を行ってきており、全小学校の指導計画が作成できた旨の答弁をいたしたところであります。

簡単ですが、一般質問につきましては以上でございます。

次に、特別委員会について御報告を申し上げます。9月30日に一般会計補正予算(第5号)を審査する令和2年度予算審査特別委員会が開催され、その翌日の10月1日から10月7日にかけて、令和元年度決算を審議する令和元年度決算審査特別委員会が開催されました。

まず補正予算の審査につきましては、前回の教育委員会でも御報告を申し上げましたけれども、教育委員会としては幼稚園、小中学校、きつず

クラブの感染症対策に関わる経費で270億円余、修学旅行と移動教室の代替として、「思い出プロジェクトKOTO2020」の経費で2,500万円、修学旅行のキャンセル料、小学校入学前の健康診断における体制強化としての看護師等の配置等を審議していただきました。教育に関する質疑は特になくて、全会一致で可決されております。

また、翌日からの決算審査特別委員会では、教育施策について、資料5ページの記載のとおり、各会派、合計8人から質問をいただき、それぞれ教育委員会事務局の担当課長が答弁しております。今回は、学校支援地域本部や特別支援教育、GIGAスクール構想などの質問がなされております。

次に、文教委員会について御報告いたします。6ページをお開きください。9月28日の臨時の文教委員会は、議案第106号、9月11日の第9回教育委員会で御審議、御可決いただいたもので、学校施設使用料の引上げについて、コロナの影響に鑑み、本年10月1日からの実施を、来年3月31日まで据え置くべく、条例の改正案を提示したものです。こちらについては全会一致で可決されております。

次に10月13日の文教委員会ですけれども、議題は、記載の29件になります。まず議題1の議案第107号は、国の給付額等の改正に伴い、本区の条例を改正するもので、前回の教育委員会定例会で御審議、御可決いただいたものであります。本件も全会一致で可決されております。

次に議題2から議題20までは、いずれも継続審議となっている請願・陳情でありまして、状況に変化がないことから、引き続き継続審議としております。

次に議題21から29までは新規の陳情となっております。

まず議題21、2陳情第35号及び議題29、2陳情第50号は、いずれも給食費の無償化を求める陳情ですが、既に低所得者等への負担の軽減策も講じていることから、現時点では無償化する考えはない旨の説明をし、継続審査となっております。

次に議題24、2陳情第42号につきましては、区立幼稚園の在り方の方針に係る陳情でありまして、表題のとおり、3年保育や公営の認定こども園の実施を求めるものです。幼稚園関係のほかの陳情等も含めまして、今後、幼稚園の在り方の方針の見直しも検討する必要がある旨の説明をし、継続審査となっております。

次に、今、御説明しました議題24を除いて、議題22から議題28までは、いずれも新型コロナウイルスへの対応に関する陳情で、主な内容は、濃厚接触者以外の教員や、きつずクラブ事業者等にも、定期的にPCR検査を実施することを求める陳情となっております。区としては現在、保健所による疫学的調査に基づきまして、濃厚接触者を特定した上で、PCR検査を実施しており、現時点では、それ以外に検査対象を広げる考えはない旨の説明をし、継続審査となっております。

議題につきましては以上でございます。

次に、報告事項についてですけれども、資料に記載とおり8点ございますが、いずれも教育委員会定例会で御報告、または御協議いただいた案件ですので、説明は省略させていただきます。

以上、長くなりましたが、報告させていただきます。

本多教育長 本件について質疑願います。

鈴木委員 文教委員会で、陳情で幼稚園の4園廃園とか見直しというのを結構多く、今回も3年保育、大島幼稚園認定こども園化等々が出ていますけれども、全体的にどういうふうな陳情と答弁みたいな流れになって、今後、どのように考えているのかを聴きたいんですね。

大町学務課長 平成30年度に策定いたしましたあり方に関する基本方針と実施計画では、4園の廃園と3歳児保育、預かり保育の2園での実施、そして大島幼稚園を候補園とした認定こども園の転換ということで、計画を策定いたしましたけれども、最新の人口推計、あるいは計画値をさらに上回る園児数の減少といったものを受けて、まず適正配置、4園の廃園については予定どおり進めていきつつも、3歳児保育園の高いニーズと、実際の園児数の動向を踏まえて、先ほど次長から御説明差し上げたとおり、計画の見直しも今後検討していくというふうに答弁差し上げております。以上でございます。

鈴木委員 そうすると、園児数が減って、4園廃園は予定どおりいくんだけれども、3歳児保育に関しては非常に要望が強いので、これは増設というか、増クラスをしていかなきゃならないというような、同じ幼稚園でも、少なくなっている部分と人気の高い部分とが混在してきたということですか。

大町学務課長 お尋ねのとおり、豊洲幼稚園と南陽幼稚園の2園に、応募が集中しており、二極化の様相を呈しているという状況でございます。教育委員会としては、非常に高い3歳児保育へのニーズに応えていくためには、3歳児保育実施園の増、ただし、それに伴って適切な園児数の規模を今後も保持していくためのさらなる適正配置というのを併せて考えていかなければいけないかなというふうに考えております。以上でございます。

本多教育長 よろしいですか。ほかいかがでしょうか。

眞貝委員 1陳情第55号なんですけれども、区立幼稚園の民営化をしないということが陳情に出ていますけれども、こういうような動きというのはあるんでしょうか。

大町学務課長 認定こども園の展開につきましては、実施計画の中では、1園を実施するものとしておまして、大島幼稚園がその候補園として現在、挙げられております。この運営形態につきましては現在、公立私立のいずれかにするというので、まだ決定は見ておりませんが、今後、実際に計画の見直しも含めて、運営形態についても、あわせて検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

武越事務局次長 補足しますけれども、この陳情の趣旨でいうと、民営化、いわゆる今の公立を、保育園みたいに民営化するというのではないし、こちらのほうでも、そういった計画は全くないところであります。

今回、新しく大島幼稚園を認定こども園に展開する際に、公立にするか、民営にするかというのは検討しているところですので、それについては公営でやってくれ、民営でやらないでくれといった趣旨になってございますので、既存の幼稚園を民営化するという考えではないということなので、改めて答弁させていただきます。

本多教育長 よろしいでしょうか。ほかいかがでしょうか。

では、本報告を終了いたします。

続いて、報告事項2、令和3年度当初予算要求についてを説明願います。

武越事務局次長 それでは、令和3年度の当初予算要求について御説明をいたします。資料2を御覧ください。

来年度の予算要求は今年10月2日に締め切られまして、現在、財政当局とのヒアリング、予算折衝が始まっているところでございます。今回の予算要求は、資料の上段にもありますように、教育委員会全体で358億円余で、令和2年度予算に比べて10%程度の増額要求をしているというような状況でございます。

この下の1、令和3年度の児童数等、予算要求に当たっての基礎数値の推計を記載しております。予算の増額要求の背景には、小中学校の児童生徒数、合わせて1,100人程度の増加を見込んでの予算要求となっておりますけれども、一方で幼稚園につきましては、クラスは9クラス減、園児数も66人の減少であり、幼稚園のほうは小規模化が一層進むという推計をしているところでございます。令和3年度予算は、この基礎データをもとに要求してございます。

このうち主なレベルアップ事業は、2を御覧いただければと思います。1つ目の丸、小学校特別支援教育事業では、教育センターの就学相談等、各種相談内容のデータベース化を図りまして、スピーディかつ適切な支援が行えるよう特別支援教育システムを導入する経費を要求しております。

2つ目の丸は、図書館運営事業で、書籍消毒機の導入や、土木部と連携しまして各図書館内を、ボランティアの育成により緑豊かにするというような経費を要求しているところでございます。

次に、このほかの要求につきまして、別紙の横の分で、一覧を御覧いただければと思います。全体的には、事業終了や実績により要求額は増減しておりますが、主なところだけ簡単に申し上げます。

まずこの表の6番、学校支援地域本部事業では、地域支援本部にオンライン環境を整えるための経費を要求しております。

1ページめくっていただきまして、3ページの30番、部活動振興事業では、指導員の増員をお願いしています。それと35番、適応指導教室事業では、スクールカウンセラーの増配置やブリッジスクールへのICT導入経費を要求しております。

4ページをお開きください。44番、教育センター改修事業では、設計を今年度終了して、令和3年度に改修工事を行う経費を要求しております。

5ページをお開きください。57番、小学校移動教室運営事業では、コロナ対策として密を避けるため、例年の2倍程度のバスで移動するための経費を要求しているところでもあります。

6ページをお開きください。61番、小学校教育情報化推進事業では、この12月に補正予算を要求する予定のGIGAスクール構想に基づく1人1台の端末が実現した際のランニングコスト等について要求しているものでございます。

68番から、7ページの76番までにつきましては、計画的に改築や大規模改修、主要対策としての増築等に係る経費について記載してございます。

77番からは中学校の経費となりますが、その中での81番や8ページの86番などは、小学校の増と同様の理由で増額要求をしているところでもあります。

9ページ、御覧いただいて、下段の108番は、深川図書館の大規模改修に伴い、工事期間中の仮設の建物の整備費を要求しています。

109番では、白河こどもとしょかんを、住吉の児童向け複合施設に入るこどもとしょかんに移転するための経費及び開設の準備に係る経費を要求しているところでもあります。

今後の当初予算編成の日程ですけれども、11月9日に首脳部ヒアリングにおいて、教育委員会としての予算要求内容を区長等にお伝えし、予算折衝、予算査定を経て、12月の区長査定により経常的な経費は内示となります。臨時的な経費は翌年の1月中旬に内示といったスケジュールとなりますので、また、この委員会のほうで説明させていただければというふうに考えております。

長くなりましたが、説明を終わります。

本 多 教 育 長 本件について質疑願います。

鈴 木 委 員 2点ほどお聴きしたいんですが、1点は、カナダの短期留学の件ですけれども、コロナの関係で中止になっているということがあったと思うんですが、大分カナダ、長いんですけれども、ほかに見直すということは考えないでしょうか、将来に向けて。ちょうどいい機会ではないかなというような気がするんですが。

それが1点と、もう一点はスクールロイヤーの活用事業なんですけれども、昨年と同じような金額の要求になっておりますが、今、どんな活動をやっているのか、教えていただきたいんです。

伊 藤 指 導 室 長 まず、カナダの短期留学についてですけれども、これまで33回実施し、サレー市とは姉妹都市として表敬訪問を行うなど、これまで相互にこどもたちの教育について前向きに一緒に考えてきていただいた経緯がありますので、今のところ、見直しをするということは考えておりません。

また、スクールロイヤーにつきましては、保護者から紙面で報告を求められたり、弁護士を同席して議論したいという求めがあったりしたときなどに、法律の専門家からの助言により、適切に対処できたケースがたくさんあります。

結果として、対応が長引くことなく教員等の負担が少なくなり、そのことによって、こどもたちが安全で安心して過ごせる環境が整えられることになっていると教育委員会としては考えているところです。

鈴 木 委 員 今回のスクールロイヤーですけれども、350万円の予算要求なんですが、昨年と変わらないんですけれども、恐らくこれは人件費的な1年間の決まった金額ということで、契約されるのではないかというふうに想定するんですけれども、昨年は何回ぐらい、どんなふうな形で、このスクールロイヤーを数的にも活用したのか。例えば毎月1回、何か定例がありますとか、事案があったときをお願いしていますというので、実績みたいなものが分かれば教えてください。

伊 藤 指 導 室 長 昨年度は、相談件数として延べ79件の対応がありました。また、スクールロイヤーとは、月に1回程度、会合を行い、教育委員会の担当と事務担当も交えて、それまでの取組と今後の在り方などについて、確認と情報交換を行っています。

鈴 木 委 員 よく分かりました。もう少し聴きたいんですが、その79件というのは、今言われているようないじめだったり、SNSだったりということが多いのでしょうか、その辺を教えてください。

伊藤指導室長 案件としては、いじめ等に起因するものが多く、その上で、保護者から学校の対応に対する苦情として対応したものが多かったです。

鈴木委員 ありがとうございます。

本多教育長 ほかいかがでしょうか。よろしいですか。  
では、本報告を終了いたします。  
続いて、報告事項3、令和2年度校園長・幼稚園副園長・教育管理職選考受験の状況についてを説明願います。

伊藤指導室長 それでは、校園長・幼稚園副園長・教育管理職選考受験の状況について報告いたします。資料3を御覧ください。

初めに幼稚園です。本年度は、園長選考・副園長選考とも、受験者はありませんでした。

次に小学校です。校長選考の受験者が24名、そのうち13名が一次選考に合格いたしました。9月下旬に二次選考の面接を実施しております。また、主に指導主事となるA選考の受験者が1名、主に副校長となるB選考の受験者が5名でございます。年齢50歳以上が対象で、即戦力として翌年度の昇任となるC選考につきましては、受験者が2名となっております。

次に中学校です。校長選考の受験者が6名、そのうち3名が一次選考に合格いたしました。小学校同様、既に9月下旬に二次選考の面接を実施しております。中学校では、A選考の受験者が1名、B選考の受験者が4名です。C選考の受験者はおりません。

今後の管理職選考受験者の確保に向け、校園長会と連携しながら、さらなる努力を重ねてまいります。

なお、小中学校の最終的な合格発表は11月末を予定しております。  
報告は以上でございます。

本多教育長 本件について質疑願います。

橋本委員 幼稚園の管理職は受験生ゼロということで、このところすごく少なく、管理職のなり手が無いと言われているんですが、今後もやっぱりこういう傾向に、これは江東区だけの問題ではないと思っているんですが、ほかもだんだん下がってきていて、管理職への魅力がないというような話が出ているんですが、その辺、江東区もそんな感じですか。

伊藤指導室長 幼稚園につきましては、特別区全体で連携をしながら取組を進めているところです。特別区全体として主任選考、副園長選考、園長選考の受験

者が少なくなっている状況です。特別区としてアンケート調査を実施し、対応について考えていく方向です。

また小中学校につきましては、本区は非常に校舎長会が熱心に取り組んでいただいております、管理職の受験者だけでなく、若手についても、研修を受ける機会を年に10回ほど設けています。これは、他区よりも多い回数になっています。このような研修に参加することにより、この先、自分が管理職になりたいというビジョンが持てるような取組を進めております。

橋本委員 ありがとうございます。

本多教育長 幼稚園の場合は、区の職員という規定があるわけで、小中学校とちよつと状況は違うかなと思っています。ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、本報告を終了いたします。

続きまして、報告事項4、江東区立小学校外国人講師派遣事業委託公募型プロポーザルの実施についてを説明願います。

堀越教育支援課長 資料4を御覧いただきたいと存じます。まず件名ですが、江東区立小学校外国人講師派遣事業委託プロポーザルになります。小学校の表記をさせていただいておりますが、有明西学園と有明小学校につきましては、小中一貫教育の関係がございますので、別の業者になります。それ以外の小学校ということになります。

2の目的を御覧いただきたいと思います。区立小学校の外国語活動等の英語を用いた授業に外国人講師を派遣し、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目的として、外国人講師の派遣事業を行っているところでございますが、前回のプロポーザルから3年が経過いたしまして、環境の変化に合わせた質の高い英語指導を児童に対して行うために、公募型のプロポーザルにより業者を選定するものでございます。

選定の内容でございますが、書類審査の第1次審査、プレゼンテーション審査の第2次審査の評価点の合計が最も高い者を受託候補者として選定するものでございます。

契約期間については、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間の契約となり、その後、2度、業者が適正であれば更新するという形になります。

5番に日程の案を表記させていただきました。このような手順を進めさせていただきまして、選定業者が決定した段階で、改めて報告をさせていただきたいと存じます。よろしく申し上げます。

本多教育長 本件について質疑願います。

進藤委員 今までの外国語の講師の数ということなんですけれども、これから英語が教科になりますので、外国人講師の数的には、どんなふうな増減があるんでしょうかということをお教えください。

堀越教育支援課長 昨年度実績で言いますと、各学校の5年生と6年生に30時間の配置をしておりました。おおむね各学校1名のALTが来て、クラスを時間割で回っていくという形に。今年度からは、学習指導要領の改訂に伴いまして、3年生、4年生に35時間の外国語活動、そして5年生、6年生に70時間の外国語というところであり、その2分の1時間を配置しておりますので、予算規模もかなり大きくなっております。

進藤委員 了解しました。

本多教育長 よろしいでしょうか。ほかいかがでしょうか。  
では、本報告を終了いたします。  
続いて、日程第1、教育長職務代理者の指名についてを議題といたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項により、教育長が職務代理者を指名することとなっております。

現在は、橋本委員を教育長職務代理者として指名しておりますが、10月30日をもって、その期間が終了いたします。

そのため、新たに令和2年10月31日からの教育長職務代理者として、進藤委員を指名したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、進藤委員より御挨拶をいただきたいと思っております。

進藤委員 このたび、教育委員会の重要な職務であります教育長職務代理者に就任させていただくことになりました。教育長を補佐し、子どもたちの健やかな成長のため、教育諸課題の解決に向け、職責を果たしてまいりたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。

本多教育長 ありがとうございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。  
それでは、以上をもちまして、令和2年第10回江東区教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございます。